

認定NPO法人 green bird との共同取組み『第3回ごみ拾い活動』について

～12月4日（水）に名古屋にて共同開催～

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）が協賛する「認定NPO法人 green bird」との共同取組み『第3回ごみ拾い活動』を、2019年12月4日（水）19時30分より名古屋市中区錦（栄広場）にて開催致しました。

日本製鉄が green bird に協賛をしてから初めて製鉄所エリアでごみ拾い活動を実施致しました。総勢約50名が参加し、多くの人が行き交う夜の公園や繁華街などを清掃し、綺麗な街づくりに尽力いたしました。

（参考）認定NPO法人 green bird とのごみ拾い活動実績

2019年5月11日（土） 原宿表参道エリア

2019年9月7日（土） 渋谷エリア

【第3回ごみ拾い活動内容】

- 日にち : 2019年12月4日（水）
ごみ拾いエリア : 名古屋市中区錦 栄広場周辺
参加者 : 認定NPO法人 green bird からは名古屋チーム檀浦リーダー以下、日本製鉄からは名古屋製鉄所 長谷川ブリキ部長を始めとするブリキ部員、品質管理部員などの社員が参加（合計約50名）
服装 : 日本製鉄、green bird 共同で作成したオリジナルビブスを着用しながら清掃

名古屋製鉄所 ブリキ部長 長谷川 和成のコメント

鉄はリサイクル率が高く、環境に優しい素材で、当社は鉄づくりを通して地球環境への取り組みを進めています。手法などは違っていても環境美化の活動は重要であり、今後もお互い協力しながら取り組んでいきたい。

スチール容器の国内でのリサイクル率は93.4%（2017年度実績：スチール缶リサイクル協会調べ）と、各種素材製容器の中で最も高い率で回収、リサイクルされています。こうした高いリサイクル率を支える原点は、有限な資源をポイ捨てしないという個々人の地球にやさしい気持ちにあると考えます。日本製鉄は、こうした気持ちを同じくし、世界に広げようと活動する green bird との共同取組みを通じて、当該活動に参加される方々に「鉄」は”身近なもの”であることに気付いてもらい、「鉄」に親近感を持って頂けるような活動にしたいと考えています。

同時に、少しでも沢山の方に素材としての「鉄」ならびにスチール容器の価値・魅力（LCA・環境負荷優位性）を知ってもらえればと考えており、今後も継続的に共同取組みを推進していきます。

「鉄」は、“何度でも何にでも生まれ変わることが出来る素材”です。

日本製鉄が提供する鉄鋼製品を用いた最終製品（自動車、船舶、建造物、家電製品、各種容器など）が寿命を迎えても、「鉄」の命は終わりません。「鉄」は磁石で選別されてスクラップとして回収され、その全てが再び鉄の原料にかえり、新たな鉄鋼製品によみがえります。回収された後、焼却されたり質の低いものにしか再生されない他素材と比べて、無限リサイクル（クローズド・ループ・リサイクル）を実現できている「鉄」は“環境に優しい素材のチャンピオン”と言えます。

持続可能な社会を構築するためには、製品のライフサイクル全体で環境負荷を考えることが重要です。造るとき、使うとき、リサイクルするときの全体で考えると、「鉄」は他素材と比較して最も環境負荷の低い地球に優しい素材です。日本製鉄はこれまでに、世界トップレベルの環境負荷の低い「鉄」の供給を通じて持続可能な社会の構築に貢献して参りました。

日本製鉄グループは、「鉄」を通じて常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、製品・サービスの提供を通じ、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)の実現に向けて、社会の発展に貢献して参ります。

(参考1) 認定 NPO 法人 green bird

代 表 : 福田 圭祐

設 立 : 2002年(認定NPO法人認可取得:2018年12月)

主な活動 : 若者・子供を中心とした街の清掃(ごみ拾い)活動「ごみのポイ捨てカッコ悪いぜ!」などを通じて環境美化啓発を目的に、国内74箇所、海外15箇所を拠点に活動中。

URL : <http://www.greenbird.jp/>

(参考2) 動画:「鉄は人と地球と共に」(日本製鉄制作)

<https://www.nipponsteel.com/company/video/lca.html>

お問い合わせ先:総務部広報センター 03-6867-2146

以 上